

令和元年度（2019年度）第1回越谷市総合教育会議

日 時 令和元年（2019年）11月21日（木）
15：00～16：35
会 場 越谷市役所本庁舎5階 第二委員会室

次 第

1 開 会

2 協議事項

（1）令和2年度（2020年度）教育行政における重点的な取組みについて

3 閉 会

出 席 者

市 長	高 橋 努
教 育 長	吉 田 茂
教育長職務代理者	野 口 久 男
教 育 委 員	堀 川 智 子
教 育 委 員	進 藤 秀 子
教 育 委 員	荒 木 明 子
教 育 委 員	渡 辺 律 子

欠 席 者 な し

会議に出席した者の職氏名

【教育総務部】

教育総務部長	永 福 徹
副部長（兼）生涯学習課長	福 田 博
教育総務課長	渡 辺 真 浩
スポーツ振興課長	八木下 太

図書館長 横山 みどり
生涯学習課調整幹（兼）科学技術体験センター所長 前田 清彦
生涯学習課調整幹 中野 聡
教育総務課副課長 並木 智史

【学校教育部】

学校教育部長 岡本 順
副参事（兼）指導課長 山口 徳明
副参事（兼）給食課長 石川 智啓
副参事（兼）教育センター所長 鈴木 雅彦
学校管理課長 紺野 功
学務課長 佐々木 清
学校管理課調整幹 齋藤 道雄
指導課調整幹 菊池 邦隆
教育センター調整幹 田嶋 栄蔵

【事務局】

市長公室政策担当部長 徳沢 勝久
市長公室政策担当副部長（兼）政策課長 山元 雄二
市長公室政策課主事 須谷 美雲

○司会 それでは、定刻となりましたので、令和元年度第1回越谷市総合教育会議をただいまから始めさせていただきます。

私、本日の進行を務めます、市長公室政策担当部長の徳沢と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、お配りをしております資料の確認をさせていただきます。

まず、次第でございます。続きまして、本日の出席者の名簿。次に、令和2年度教育行政重点事業として、資料1、A3判縦、白黒のもの。それから、資料2、A4判、全11ページのもの。

以上でございます。皆さん、過不足等はありませんでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○司会 ありがとうございます。

それでは、本日の総合教育会議の主催者であります高橋市長からご挨拶を申し上げます。

○高橋市長 皆さん、こんにちは。

本日は、大変お忙しい中、令和元年度第1回越谷市総合教育会議にご出席を賜りましてまことにありがとうございます。

さて、先月発表された文部科学省の調査結果によれば、全国の小中学校等におけるいじめの認知件数、暴力行為の発生件数、不登校児童生徒数などは、近年大幅な増加傾向にあると言われております。このような状況を踏まえ、子どもたちが積極的に学習に取り組み、豊かな人間性と社会性を身につけていくために、教育環境の一層の整備が必要であると改めて感じているところでございます。

本日は、令和2年度の教育行政における重点的な取り組みとして議題を用意してございます。今後とも皆様と意見を交わしながら、よりよい教育環境の整備を進めてまいりたいと考えておりますので、一層のご指導、ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

○司会 続きまして、傍聴について確認させていただきます。

本日の総合教育会議につきましては、非公開とすべき事項はございませんので、公開とし、傍聴につきましても許可したいと思っておりますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○司会 本日、傍聴希望者の方はいらっしゃいますか。

○事務局 本日の傍聴希望者はいらっしゃいません。

○司会 まだいっしょにやらないということですが、この後傍聴を希望される方がいらっしゃいましたら、適宜対応させていただきます。

それでは、協議事項に移らせていただきます。

本日の協議事項は、令和2年度教育行政における重点的な取り組みについての1件でございます。本日の進め方でございますけれども、初めに資料に基づきまして基本目標ごとに教育委員会からご説明をいただき、その後、委員の皆様からご意見等をお伺いしたいと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それではまず、基本目標の1番、学校教育について、教育委員会事務局からご説明をお願いいたします。よろしくお願ひいたします。

○岡本部長 それでは、教育振興基本計画における3つの基本目標ごとに、令和2年度に重点的に取り組みたいと考えております内容についてご説明を申し上げます。

お手元に、先ほど確認のありました資料1、A3判のものと、それから資料2、A4判の2種類の資料をお配りしているかと思いますが、A3判の資料は、重点的な取り組みのうち、主に新規及び拡充して行う取り組みについて基本目標ごとにまとめたものでございます。A4判の資料は、重点事業の内容について、継続事業も含めまして詳細に記載したものとなっております。

本日は、A3判の資料をもとに、主に新規及び拡充する取り組みについてご説明いたしますが、あわせてA4判の資料もごらんいただきましてご協議いただければと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは初めに、「基本目標1 生きる力を育む学校教育を進める」についてでございます。こちらは、学校教育の分野における取り組みとなっております。

「施策の方向1 自立して生きていくための基礎となる確かな学力を育む」でございます。

①、時代に即した学校教育の推進として、ICTを活用した教育の充実を図るため、プログラミング教育で使用する教材の整備やタブレットの追加配備など、校内系ネットワークを活用した児童生徒の学力及び情報活用能力の向上に努めてまいります。また、情報モラル教育の推進を図るため、親子で学ぶ情報モラル教材の提供など、情報化の進展に伴う主な課題に対応する情報モラル教育に努めるほか、学校図書館の充実を図るため、学校司書の増員や効果的な配置など、学校司書の効果的な活用に努めてまいります。

②、指導内容の充実と指導方法の工夫改善といたしまして、指導内容・指導方法の改善を図るため、5年間の実績を生かしました小中一貫教育に関する研究指定と各校の研究推進への支援など、小中一貫教育を中心とする研究委嘱等の実施に努めてまいります。

また、学力調査等の活用を図るため、授業動画の配信を初めとする効果的な指導事例の紹介や越谷市が独自に実施する検証テストなど、各種学力調査の問題・結果を活用した指導内容の研究及び指導方法の工夫改善に努めてまいります。

③、伝統文化を尊重し国際性を育む教育の推進といたしまして、小中学校における英語教育の推進を図るため、新学習指導要領全面実施に対応するよう語学指導助手を増員するとともに、指導力向上を目的とした教職員研修を実施するなど、小学校外国語科の実施に向けた環境整備に努めてまいります。

続いて、「施策の方向2 自立して生きていくための基礎となる健康な心と体を育む」でございます。

教育相談の充実といたしまして教育相談体制の充実をさらに図るため、学校Cityメールを活用した相談窓口の周知やSNSを利用した教育相談の実施など、原因や内容が複雑化し、長期化する教育相談への適切な対応に努めてまいります。また、いじめ・不登校の未然防止、早期発見、早期解消を図るため、いじめ認知件数の格差解消等を目的とした統一アンケートを実施するなど、越谷市いじめ防止基本方針を踏まえたいじめの防止等に係る事業の実施に努めるほか、不登校児童生徒への教育的支援を図るため、適応指導教室に通室する不登校児童生徒に対する自立と社会参加に向けた支援を実施するなど、家庭・学校・フリースクール等と教育センターの連携に努めてまいります。

「施策の方向3 信頼される、質の高い教育環境をつくる」でございます。

⑤、教育支援体制の充実として、幼保小の連携を図るため、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を目的とした幼保小連絡会を実施するなど、小学校と幼稚園・保育所・認定こども園との連携に努めてまいります。また、小中一貫教育の推進を図るため、5年間の実績を生かした小中一貫教育に関する研究推進への支援を実施するなど、小中一貫教育の推進に向けた各ブロックの取り組みへの支援に努めるほか、特別支援教育支援員の増員及び効果的な配置を行うなど、児童生徒の豊かな学校生活と円滑な学校運営のための支援に努めてまいります。

⑥、義務教育施設の整備と充実といたしまして、安全な学校施設の整備と充実を図るため、川柳小学校校舎の増築を実施し、児童数増加に伴う教室不足に対応してまいります。また、小学校校舎及び屋内運動場の児童用トイレを洋式化し、快適な学校環境の整備と充実に努めてまいります。

⑦、教職員の資質向上と研修環境の充実といたしまして、教職員研修の充実を図るため、働き方改革を踏まえた年次研修の実施や新学習指導要領等に対応するための教職員研修の充実など、多様な教育課題に対応できる豊かな人間性と確かな指導力を持った教

職員の育成に努めてまいります。

⑧、地域に根ざした特色ある学校づくりといたしまして、学校評価の充実を図るため、全小中学校に設置された学校運営協議会の効果的な運用や、学校応援団との連携体制づくりへの支援を実施するなど、コミュニティ・スクールの推進に努めてまいります。また、学校応援団の推進を図るため、小学校における放課後等の学習支援を実施するなど、学校応援団の運営と学習支援体制の整備に努めてまいります。

基本目標1についてのご説明は以上でございます。ご協議のほどよろしく願いいたします。

○司会 ありがとうございます。

ただいまご説明がございました基本目標1番目、学校教育につきまして、委員の皆様からご意見等をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

○吉田教育長 私からは、現状と課題、あるいは進捗状況についてお話をさせていただきたいと思います。

施策の方向の1のICTを活用した教育の充実というところで、本市でも富士通とのIoTを活用したメロン水耕栽培を進めていることからわかるように、超スマート社会の到来を肌で感じているところですが、そんな中、国ではスマート社会を生き抜くための能力の育成が必要であるとして、ICTを主体的に使いこなすとともに、人間ならではの感性や創造性を生み出すことを求めています。こうしたことから、ICTを活用した教育の充実を目指す教育環境の整備は、今後ますます重要になってくるものと考えております。

また、プログラミングをするときのプロセスやノウハウを学び、日常生活で生かせるような、いわゆる論理的な思考、考え方や物事の手順を身につけさせるプログラミング教育についても進めていく必要があると考えております。

そこで、本市のICTの整備環境ですけれども、eボードやタブレット型端末の導入により活用の幅を広げるとともに、リテラシーの向上にも努めているわけですが、活用状況を見ると学校ごとに温度差があるのも現実のところでございます。温度差と言え、国や県からの話を聞くと、各自治体間でも温度差が見られる。ちなみに、越谷市ではおかげさまで無線LANの整備率はほぼ100%で、全国平均の41.7%、県平均の30.9%を大きく上回っております。しかしながら、コンピューター1台あたりの児童生徒数については、越谷市は10人に1台ということで、県内63市町村中52位で、ちなみに全国平均は5.4人に1台、県平均は7.4人に1台ということになっております。これについては、日経BP社が全国公立学校情報化進展度ランキングというものをしています

が、それによれば、越谷市の指導力とインフラ整備をあわせた総合順位は、越谷市の小学校は全国で1,742自治体中869位、中学校は全国で1,778自治体中1,148位となっております。教育委員会としての目標値につきましては、国の目標値でもあるわけですが、3クラスごとに1クラス分の台数を確保したいと考えております。これは、3人に1台ということで考えてございます。

それから、施策の方向の1の小中学校における英語教育の推進ですが、ご案内のとおり、小学校の英語が教科化になりましたので、小学校30校では毎時間ALTを配置するとした場合には25人が必要ということで試算してございますので、その配置に努めていきたいというふうに思っております。

施策の方向の2のところでは、先ほど市長さんのお話にもありましたけれども、いじめやその認知件数が増えている、ということがございます。これは認識が高まったという逆の言い方もできるわけですが、いずれにしても、そのいじめや自殺などに結びつく「心の悩み」というのは見つけにくいということが前提としてあるので、情報収集の窓口は広く確保しておきたいと考えているところです。したがって、SNSへの利用者教育相談についても考えていかなければいけないと考えています。

施策の方向の3についてですが、ここでは、特別な配慮を要する児童生徒や外国籍の児童生徒が急激に増加しておりまして、この対応が喫緊の課題であると考えております。特別支援教育支援員の配置をいただいているわけですが、今年度は95名の要求のところ現在59名配置をしております。昨年同時期では56名の配置でございました。ところが、特別支援教育に在籍する児童生徒及びその学級の経年変化を見ると、平成22年度には245人で47学級だったものが、令和元年度には約1.9倍の457人、昨年よりも30人ふえて79学級になっています。ちなみに、児童生徒総数を比較すると、平成22年度は2万7,397人、令和元年度は2万6,364人と1,000人減っているのですが、特別配慮を要する児童生徒、特別支援学級に在籍している児童生徒数に限っても1.9倍になっているということで、割合としては相当増えているというふうに考えております。

また、軽度の障がいを含めると、特別配慮を要する児童生徒の数は通常学級においても増加しており、特別支援教育支援員等の配置の拡充や発達支援訪問指導の充実も含め、段階的に周辺環境の整備を図る必要があると考えております。

また、県の目指す特別支援学級配置校の配置率は80%なのですが、本市の設置率は現在45校中29校で64.2%となっております。市長さんにも大変ご心配いただいているところですが、教育委員会としましては、設置率100%を目指しておりますが、今のところ空き教室や指導者等の確保などに課題が残っていることから、今す

ぐ100%ということは難しいと考えております。

ちなみに、令和2年度は3校増やし45校中32校、配置率は71.1%となる見込みです。実際に指導にあたっての課題として、気持ちのコントロールがきかず、出歩く、机の下に潜る、教室から出ていくなどの行動をとるとか、危険なことへの認知・判断力が弱いであるとか、自分の気持ちを言葉で伝えることが苦手で暴言や暴力で表現することがあるとか、あるいは全体に伝えただけでは伝わりにくい等のことがあることから、個別に指導する必要がありますので、支援員の配置をお願いしておるということでございます。これは、こういう子どもたちが複数通常学級の中におりますと、なかなか1人の先生では十分に対応できないという現実がございます。

また、重点事業に入れておりませんが、外国人労働者の受け入れ拡大に向けて入管法が改正され、今後日本語指導が必要な児童生徒のさらなる増加が予想されるところでございます。ちなみに、外国籍の児童生徒数は、平成23年度には160人だったのが、令和元年度には345人になっており、8年で2倍強増えており、今後ますます増えることが予想される。そのことに伴い、日本語指導員の充実を図る必要があります。現在16名が登録されていますけれども、昨年度は同時期で15名が登録されていたと思います。

では、学校で実際に対応する場合、具体的な取り組みとしてどんなことが挙げられるかということですが、今年人権教育実践報告会というところで、越谷のある学校が実践発表したわけですが、それによると、着がえとか給食とか、あるいは座席、担任、体育、登下校、行事、装飾品等、十数項目にわたる、主に宗教上の配慮事項にかかわる要望等に基づき面談を重ね、学校側の規則にかかわることについても理解してもらいつつ合意形成を図るということをやっているわけですが、これは、日本語がままならぬ保護者本人との間でこれを取り交わすということで、結構工夫をしている。

また、クラスの子どもたちに、なぜこうした対応をとるのか説明するとともに、実態に応じて人権感覚養成プログラム等を活用して、人権意識の高揚と異文化の理解を同時に図っていく。さらには、クラス替えもありますので、上記のことについて職員の共通理解を図るというようなことが実際には行われるわけですが、県でも動きがありまして、生涯学習の観点から外国人住民との共生を目指した取り組みについて検討を進めているようでございます。教育委員会といたしましても、今後生涯学習、学校教育の両面で検討していく必要があると考えているところです。

このように、外国籍の児童生徒も含め特別な配慮を要する児童生徒の数が急激に増加していることから、さらなる特別教育支援員の増員や、当然ながら悩みを抱えている家庭もふえますので、教育相談の充実、さらには近い将来、学び総合指導員についても増

員が必要になってくるというふうに考えているところでございます。

施策の方向の3の環境整備については、市長さんが文部科学省に直接出向いていただいたこともあり、長年の懸案事項でもあったトイレの洋式化に着手することが決まりました。この洋式化については、校内の防犯カメラの設置や耐震化、そしてエアコンの整備ということがあって先送りしてきたわけでございますけれども、結果として全体の8割程度を洋式化することになります。小学校では938基、中学校で478基のトイレの改修計画を立てております。その進捗状況ですけれども、令和元年度末で15校516基が改修済みとなる予定でございますので、進捗状況は938分の516で55%となり、今後、小学校では令和2年度で残りの15校422基を改修予定ですので進捗率は938分の938ということで100%、中学校では令和3年度に15校478基改修予定で100%ということになります。

それから、防犯カメラについては、これも市長さんの英断で設置ができるようになったわけですが、進捗状況としては、設置場所を図面上に落とし込んだところで、今後は業者を選定した上で今年度中に設置・稼働させることとなります。これについての考えですけれども、関係機関部局と調整を図る中では、設置台数に係る要望、意見等も出たわけですが、教育委員会としては、設置後は事故や事件の未然防止に向けた効果的な運営を図ることともに、防犯カメラの設置の検証を行った上で、運営面での効果と管理面の課題を洗い出して、登下校防犯プランに係る合同会議等を利用して検討協議するなどして、今後の方針について決めていきたいと考えております。

最後、施策の方向3のところですが、もう一つ気になっていることといえば、働き方改革であります。先般、埼玉県の学校における働き方改革基本方針が策定されました。この方針に基づいて、本市でも近隣市町と連携して基本方針案を策定していきたいと考えております。ちなみに、越谷市の教職員の勤務時間を除く在校時間の状況として、月45時間以上と80時間以上の在校時間教職員の割合を平成30年度と令和元年度の同期、4月から10月の比較で見ると、45時間以上では小学校では割合が増えたというのは9月だけで、中学校では8月だけです。80時間以上ということになると、小学校では9月だけ、中学校ではなしということになっています。平均にするとマイナス3.5からマイナス7.4ポイントと減少しておりますので、効果があらわれ始めているものと考えているところですが、依然割合は高い状態ですので、働き方改革を引き続き進めていく必要があると考えております。

○司会 ありがとうございます。

施策の方向、3つの方向に沿って全国のデータ、さらには越谷市の経年変化といえますか、そういったデータを用いて越谷市の教育現場の状況、さらには課題ということで

ご発言をいただきました。その中でも、とりわけ外国籍を持つ児童生徒が8年で2倍もふえているというお話もございました。新たな課題ということになるろうかと思えます。ありがとうございました。

ほかにご意見等はいかがでしょう。

野口委員さん。

○野口委員 今、教育長さんのお話にもあったのですけれども、政策全体としては、小中一貫教育を初めとして、学校にも効果が出てきているなという印象を受けていまして、環境面でも、エアコンに続きトイレの洋式化にも取り組んでいただいたということで、大変すばらしい結果であり、なかなか難しいだろうと思っていたものがどんどん進んでいるので、大変ありがたいなと思っています。

ただ、教育長さんの話にもあったのですけれども、施策の方向1—2になりますが、今後個別に対応する内容が非常に増えてくるかなという印象を持っています。教育相談体制の充実、いじめ・不登校、不登校児童生徒への教育的支援といった部分があるかと思いますが、SNS等の普及もきっと原因となっていると思うのです。以前は、非行で反社会的な行動をとる児童生徒が多くて、荒れた学校というイメージがあったのですけれども、最近では、一見静かな中で、非社会的な生徒や、人とのかかわりが非常に苦手でもりがちな生徒が増えてきているという印象を持っています。聞くと、スマホを使用して何時間も過ごしている子もいるようで、そういったことへの個別の対応の充実がこれからきっと必要になってくるのだらうなというふうに思っています。以前のように非行が多かった時代と比べると、なかなか社会と接点を持ちたがらないところがあるので、対応に苦慮する部分があるかなと。ちょっと危惧しているのは、学校としてはそれほど学校運営に支障が出るわけではないので、少し見過ごされがちのところも出てきてはいけないなと思っています。そういった意味では、教育相談の充実とか、外国籍児童生徒への対応、それから発達障がいをはじめとする特別支援教育的な配慮などが重要になってくるかなと思っています。なかなか表だって学校が荒れているわけではないので、ひたひたと迫っているような危機感を私自身は持っていまして、早目早目に手を打っていったほうがいいなと思っております。

また、心を開いて話せる相手が欲しい保護者が結構いるみたいですので、そういった意味ではスクールソーシャルワーカーとか、家庭にも入り込めるような人がたくさんいるといいのかなと、それがまた職員の負担軽減とかにもつながっていくのかなというふうに思っておりまして、ややもすると数値のみで必要性を考える場合が多いのですけれども、若干の余裕を持った人員配置があると、いろいろな問題にじっくり取り組んで救

われる家庭や子どもも増えてくるのかなという印象を持っています。ぜひそういったことをこれからも充実させていければいいと思います。

私からは以上です。

- 司会 ありがとうございます。ただいま野口委員さんから、特に個別対応の必要性ということについてお話をいただいたかと思えます。

続いて、堀川委員さん、いかがでしょうか。

- 堀川委員 市長には、日ごろのご支援をいただきありがとうございます。現在、学校で課題とされております不登校の増加、特に中学校のほうが全国で11万以上ということで、非常に増えていると感じます。いじめや校内暴力なども変わらずに起きていて、また子どもたちを取り巻く環境も、ひとり親の増加、家庭内孤立、地域のつながりの希薄化、先ほどありましたけれども、外国人児童の増加、また貧困、虐待など、非常に多様化しているなというふうに感じます。今まで以上に一人一人に向き合って、個に応じた重点的に生活指導、あるいは学習指導が今後必要になってくるのではないかなと強く感じております。特別支援員の増加も特にお願いしたいところですし、ますます充実した形で指導ができればいいなというふうには考えます。

また、A3資料のほうには載っていないのですが、A4の冊子のほうの5ページの一番下、学校応援団の推進と学習支援体制の整備というところで、放課後の学習支援として、退職教員の方による指導など、こういった面での学習指導が今後ますます必要になってくるのではないかなと思いますので、その辺もご検討、ご支援いただければなというふうに考えております。

私からは以上です。

- 司会 ありがとうございます。

続いて、進藤委員さん、いかがでしょうか。

- 進藤委員 来年度から小学校に関しましては、新しい学習指導要領が全面的に実施されて、その中で新聞等でもよく話題になっていますプログラミング教育であるとか、外国語学習が小学校3年生から義務づけられるというふうに、子どもたちからしてみれば、新しいことをどんどん詰め込まれてしまう、学習する内容もどんどん難しくなってくるということで、本当に大変だなと思っております。特にICTに関しましては、もう好むと好まざるとに関わらず、我々の生活からは切り離すことはできないので、やはり子どもたちもいろんなことを学んでいかななくてはいけないのだなと感じています。

先日、学校の授業を見る機会があったのですが、タブレットを使った授業もありまして、そうすると1台のタブレットに4人くらい、1つのグループで1つのタブレ

ットという形でやっていました。そうすると、わからないことは生徒さん同士で教え合うということで、非常にいい効果があるのかもしれないのだけれども、わからない子はずっとわからないままで終わってしまうのではないかなというふうなことを感じました。できればタブレットを1人1台持てるように、いずれなったらいいなと思いました。

また、パソコンについても、パソコンルームで1台に対して複数の子どもたちが学習している姿も見ましたので、このあたりも、できればもう少し数を導入できたらいいのではないかなということも感じました。

先ほど市長さんの話の冒頭で、子どもの不登校やいじめの問題のことも話題に出ていましたけれども、やはり学習についていけないということが、不登校になったりいじめにつながるきっかけになることもあると思いますので、学習環境の整備ということも、今まで以上にご配慮いただけたらありがたいなと思いました。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

続きまして、荒木委員さん、いかがでしょうか。

○荒木委員 学校教育に関しましては、たくさんの取り組みがありどれもが大切ですけれども、中でも令和2年度から全小学校でスタートするプログラミング教育や小学校外国語科の実施に向けた整備、それから子どもも保護者も学ぶべき情報モラル教育、相談に来やすい教育相談体制の整備、特別支援の体制づくりなどに重要性を感じております。

先日、10月31日に小中一貫学力向上研究発表会の研究授業を参観させていただきました。板書の統一感や、生徒たちが意見を活発に交換したり、発表しているのが大変印象的でした。平成31年度埼玉県学力・学習状況調査で、小学校4年生から中学校3年生まで、全ての教科で平均が県平均を上回ったと知り、そういったこともこうした小中一貫教育の成果と感じました。

以上でございます。

○司会 ありがとうございます。

それでは、渡辺委員さん、いかがでしょうか。

○渡辺委員 教育委員を仰せつかりまして約1年が過ぎまして、いろいろなことを勉強させていただき、ありがとうございます。私からは2点ございます。

まず1点目は、資料2の一番下にあります小学校外国語科の実施に向けた環境整備ということなのですが、こちらには語学指導補助、ALTの増員というふうにあるのですが、私はぜひ英語専科の教員を1校に1人つけていただけたらと思います。その理由といたしましては、現在、現場の教員は、各教科の授業の教材研究ですとか、

あと校務分掌ですとかご家庭とのやりとりで非常に忙しい状態でございます。英語専科の教員を各校1人いただけましたら、3、4年生の外国語活動から5、6年生の外国語教科への縦断的な指導計画も実施できると思いますし、より効果的な英語教育ができるのではないかと思います。

2点目なのですが、同じく資料2の上から2つ目の情報モラル教育の推進というところがございます。もちろんICTを使った教育環境の充実というのはもちろんのことなのですが、それに伴いまして、ネット上でのいじめなどが非常に多くなっていると思います。先日も新聞にあったのですが、神戸の中学3年生の自殺の原因がいじめであったと。その内容を見ましたところ、インターネット上での中傷や悪口などというように書いてありました。また、もともとの発端というのが、この亡くなった生徒が動画サイトに動画をアップしたところ、これは盗撮ではないか、という中傷を受けたということだったようです。そのような点からも、やはり情報モラル教育というのは非常に大切ではないかと考えております。具体的には、例えばこちらにありますように、もちろん家庭や地域を対象とした講演もそうなのですが、ぜひ学校にそのような知識を持たれた方を呼んで講演をしていただくとか、専門的な団体がありますので、身をもって子どもたちにその怖さなどを教えていただければいいのではないかと思います。

以上の2点でございます。よろしくお願いたします。

○司会 ありがとうございます。

市長、いかがでしょうか。学校教育に対しまして。

○高橋市長 私は、学校の設置及び管理、教育環境を整えることが市長の使命であると思っております。先生方や教育委員会からのいろいろな要望については、真剣に考えていきたいと思うのですが、非常に多岐にわたります。小中学校が45校あって、子どもが2万7,000人近くおり、いわゆる心の障がい、あるいは肉体的、身体的障がいを持っている子どもたちの教育、外国人の児童の教育にも対応しなくてはいけない状況です。そういった視点から、どこから取り組んでいくのか、何が一番大事かということを、順位づけしながらやっていかざるを得ないでしょう。私どもとしても、全てに答えられることはなかなかできないので、ぜひ教育委員会として、お考えいただいて対応していきたいと思っております。

さらに、今、教育委員の皆さんからもお話が出ました、ICTの問題が強く出てきています。子どもたちもパソコン、あるいはスマホを使う時代になっている。そういう中で、いかにICTに対する正しい教育をしていくか。これもまた、大きな課題です。こ

れらを一一つ、担任の先生が対応することは、なかなかできないかもしれない。先生も、相当四苦八苦していると思うのです。小学校の外国語指導についても担任の先生が中心に行うという形がとられてきました。渡辺先生から、学校に専任の先生を置いて、しかるべき指導ができる体制をとってほしいと、こういう話がありました。どういうふうに取り組んでいくか、教育委員会として、ある程度体系的に整理をして、教育現場の先生にアドバイスをすることをお願いしたいと思っています。

暴力やセクハラの問題など、難しい時代になっているので、先生も相当萎縮してしまうのではないかと思いますし、子どもは子どもで、表に出ないことや、スマホが引き金となるいじめや犯罪が問題となるなど、非常に現象が捉えにくい時代に来ています。こういったことを、どう対応していくかということが今、学校教育で求められているので、教育委員会を中心に課題の整理をお願いしたいと思っています。

環境の整備については、PCも1人1台、スマホもタブレットも1人1台が理想です。最小限40台そろえればクラスごとに1人1台を使用し指導ができるので、計画的に取り組んでいていただきたいなと感じています。

私どもも教育の内容について、問題意識はいっぱいあります。私どもとしましては、先生方のノウハウをしっかりと受けとめて、それに応えられる機材や施設整備を行ってまいります。教育長には、教育委員会の責任者として連携をとっていただき、結果として子どもたちがすくすくと成長することを期待しています。

あともう一つ、感想的なことですが、最近、子どもがみんな萎縮しているような、昔の元気のよさがどうも失われているような気がします。スポーツ界でも若い人が頑張っていますが、全体的には何か低迷しているような状態を感じます。物質的には豊かになっていますが、その反面、精神的には追いついていかない面があるのではないのでしょうか。小中学生の子どもたちが5年、10年先どうなっていくかということも想定しながら、自立できる子どもたちを教育してほしい。これは希望ではありますが、よろしくをお願いします。

○司会 ただいま市長からのお話にありました、基本目標1番、学校教育につきまして意見交換をいただきましたが、次に移らせていただいてもよろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○司会 それでは、続きまして、基本目標の2番目、生涯学習について、教育委員会事務局からご説明をお願いいたします。よろしくをお願いします。

○永福部長 それでは、「基本目標2 生涯にわたる学びを充実し、地域の文化を創造する」についてになります。

「施策の方向1 生涯を通じた学習活動を推進する」では、

①、学習活動の充実と学習成果の活用として、家庭の教育力の向上を図るため、就学時・進学時の説明会で講師を増員して子育て講座を実施するなど、家庭教育に関する学習機会の提供に努めてまいります。

②番目として、自然体験や科学体験の充実として、科学技術体験センター事業の充実を図るため、特別な支援を要する児童生徒への科学工作体験事業を実施するなど、ライフステージに応じた科学体験事業の実施に努めてまいります。

③として、図書館の充実、図書館サービスの充実を図るため、移動図書館によるサービスポイントの整備を行うなど、市民の読書活動の推進に努めてまいります。また、図書館システムの活用を図るため、システムの移行や図書館ネットワークの整備など、システムの活用による利便性の向上に努めるほか、子ども読書活動の推進を図るため、親子で参加できるワークショップの開催や高校生による「おすすめ本」の紹介など、各種講座等の開催及び子どもが読書に親しむ機会の提供に努めてまいります。

「施策の方向2 芸術文化活動を推進し、伝統文化を継承する」では、

④として、芸術文化活動の推進として、市民との連携による発表機会の充実を図るため、文化総合詩「川のあるまちー越谷文化」の掲載内容の見直しを実施するなど、成果発表の場の提供に努めてまいります。

⑤、特色ある地域文化の振興と普及として、日本文化伝承の館こしがや能楽堂の利用促進を図るため、女子トイレを洋式化し、施設環境の整備と充実に努めてまいります。

⑥、文化財の保存と活用として、旧荻島公民館を文化財整理室や文化財ボランティアの活動場所として整備するとともに、越ヶ谷秋まつりの調査を実施するなど、歴史資料の公開及び民俗行事の調査の実施に努めてまいります。

基本目標2については以上でございます。

○司会 ありがとうございます。

ただいま説明がございました。基本目標2番、生涯学習につきまして意見交換をさせていただきたいと思います。

○吉田教育長 生涯学習について、施策の方向2ですけれども、これも市長さんとお話をする中でよく出てくることなのですが、越谷市民としてのアイデンティティーを高める手段として、歴史的な遺産であるとか文化財の活用が見直されているところです。先ほど部長の説明の中に「越ヶ谷の秋まつり」、さらには旧荻島公民館に文化財整理室を整備し、文化財ボランティアの活動の場として考えていきたいということがありました。そういった歴史的資産、文化財等の活用による機運の醸成を図るという意味で、文化財の

保存、利活用、芸術文化の推進、地域文化の振興を推進していきたいと考えております。

○司会 ありがとうございます。ただいま、越谷市民のアイデンティティーということ
をキーワードにお話がありました。

ほかの委員の皆様、ご意見ございますでしょうか。

○野口委員 私も今教育長さんがおっしゃっていたこととお話ししようかなと思っていた
ところなのですけれども、2—2 歴史的資料の公開というところで、たしか以前は見田
方遺跡公園に文化財を保存する高床式の倉庫がありました。あのような、市の文化遺産
的なものをどこか見られるところがあるといいのかなと思っています。今度、新庁舎も
できることですので、そういうものを定期的に公開するなどして、市民意識が高まると
いいのかなと思っているのですけれども、ちょうど先週も「宿場まつり」が日曜日から
やられていたようで、市民からもそういった声が出てきているなと思いますので、
充実させるときっといいのかなと思っています。

また、学校教育との関連では、中学生が社会体験チャレンジで文化財の調査をする
といった実体験も、越谷の歴史を知る上で非常に大切な活動ではないかなと思いますので、
これからも大事にできればなというふうに考えています。

○司会 ありがとうございます。野口委員さんからお話をいただきました。

ほかの委員さんいかがでしょうか。

荒木委員さん。

○荒木委員 人生100年時代で、社会が激しく変化する時代において、変化に適応しつつ、
より豊かな人生を送るということで、生涯を通して学んで新たな知識や技能を身につけ
ることが大切だと言われていています。教育長から越谷市民としてのアイデンティテ
ィーというお話もありましたが、そういったことはやはり越谷市の発展にもつながると
考えます。さまざまな世代が新たに学び始めるきっかけづくりや環境づくりというもの
が重要と思っています。読書や調べ物で、私も近くの図書館に参りますときは、いつも
受付の方々が、とても感じよく親切で丁寧に対応してくださいます。そして、たくさん
の市民の方々が座って本を読まれている熱心なお姿や、本を借りている親子の姿など、
いつも目にいたします。令和2年度も図書館の充実に関するさまざまな事業で、生涯を
通じた学びのシーンを作っていくことは、大切なことと感じております。

また、芸術文化活動は、感動によって人生を豊かにしますし、人々のつながりや交流
も生み出します。子どもたちの感性や創造性をより豊かなものへと育むと思います。や
はりそういった機会の充実というのが大切と感じております。

以上でございます。

○司会 ありがとうございます。ただいま荒木委員さんから、人生100年時代を見据えて学びの大切さ、とりわけ読書だとか図書館、こういったことをキーワードにご意見をいただきました。ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。

進藤委員さん。

○進藤委員 先ほど教育長から、市民としてのアイデンティティーというふうな言葉が出てきましたけれども、子どもに越谷っ子としての誇りを持ちましょう、なんていうことはよく聞くのですけれども、我々大人も越谷市民としての誇りを持たなくてはいけないのだなということを今改めて感じました。私は越谷出身なのですけれども、ここにありますように、越谷の秋まつりですか、これはもう改めて文化財なのだなというふうなことも感じました。昔はあるのが当たり前で、毎年やっていたのですけれども、最近ほとんど、忘れたころにやるみたいな感じで、山車もほったらかしにしてしまう状況で、本当に貴重な文化財もなくなるあるいは忘れ去られてしまうのだなということなので、改めて掘り起こして文化的な価値を確認するというのも非常に有意義なことかなと思います。また、そこで得られた資料であるとかもろもろのものは、先ほど野口委員さんもおっしゃったように、どこかで展示、あるいは公開されたらいいかなと思います。今回、旧荻島公民館を文化財整理室として利用するということになりましたけれども、こういった拠点を設けていただくと、非常に活動なんかもしやすいですし、整理もしやすいのかなと感じました。以上です。

○司会 進藤委員さん、ありがとうございます。

ほかの委員さん、よろしいですか。

それでは、市長、よろしく願いいたします。

○高橋市長 私はこの世に生を受けて、全うして暮らしていくにあたって、歴史をちゃんと勉強して、さらに歴史をつくるということが大きな使命ではないかと思うのです。本日から始まる市民文化祭は、最たる事業です。いろんな文化を自分で学び、演じてみる、知ってもらい、それをさらに自分の中で研さんをして、極意をきわめるというような、そういうことが必然的に生まれてくるわけです。歴史は何のために勉強するのかというと、過去を知って現在を見詰め直して将来にプラスするということが一番大事なはずで、古文書や文壇者がつくった作品から学んでいくことも本当に大事なことです。そういう視点から図書館の充実ということが叫ばれてきます。やっぱり一人一人が生きがいを持っていくことが生涯学習であり、一番根本をなさなくてははいけない。生きがいを持つような条件整備が我々行政に求められていますので、しっかりと受けとめて、一人一

人の要望に対応していくということが大事だと常々感じています。そういうことを学校の先生から、子どもたちに諭すことが大事なのではないかなと思いますので、ぜひ教育委員会としても、取り組んでいただきたいなというのが私の希望です。

○司会 それでは、基本目標の2番、生涯学習につきましては、以上としたいと思いますが、よろしいですか。

〔「はい」と言う人あり〕

○司会 ありがとうございます。

それでは次に、基本目標の3番目、生涯スポーツについて、教育委員会事務局からご説明をよろしくお願いいたします。

○永福部長 最後に、「基本目標3 生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる」について、こちらは、生涯スポーツの分野における取り組みとなっております。

「施策の方向1 健康ライフスタイルづくりを支援する」では、

①、活動機会の充実として、スポーツ観戦機会の充実を図るため、ポルトガル卓球チームの事前キャンプに向けた練習環境の整備や越谷アルファーズ主催試合に市内小学生を無料招待するなど、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成活動及びプロスポーツ等の開催・誘致に努めてまいります。

「施策の方向3 スポーツ・レクリエーション施設の充実を図る」では、

②、施設の充実と利用促進として、地域体育館の利用促進を図るため、(仮称)越谷市立地域スポーツセンターの整備を進めてまいります。

基本目標3の説明については以上でございます。令和2年度に重点的に取り組みたいと考えております内容の説明については以上となります。よろしくお願いいたします。

○司会 ありがとうございます。

ただいま説明がございました基本目標の3番目、生涯スポーツについて意見交換をさせていただきたいと思います。

○吉田教育長 私からは1点なのですが、私は前回の昭和39年東京オリンピックで、東洋の魔女と言われたバレーボール女子、大松博文監督の「俺についてこい」というものに痛く感銘を受けて、今でも覚えておるのですが、子どもたちにもせっかくの東京オリンピックに関して何かレガシーを残したいなというふうな思いがありまして、少しお話をさせてもらいます。

オリンピック・パラリンピックに向けて現在考えられることは聖火リレーです。これは近隣の小中学校から12名を選抜することになってはいますが、二度とない経験と

なるであろうことから、聖火の見送り隊として近隣の小中学校から児童生徒を動員したらどうかと。あわせて交通整理をかけたボランティアについても検討していければなどというふうに思います。

また、ポルトガル卓球チームの事前キャンプの受け入れについては、出場権の獲得が前提条件となりますが、確定は年末から年明けにかけてということになっております。これについては、歓迎の意を表し、その機運を醸成することを通して、子どもたちの心に東京2020のレガシーを残してあげたいなと思っています。方法としては、歓迎セレモニーの実施や選手との交流、試合などをできればいいと思います。それに合わせて、備品等の整備をしていく必要があると考えております。

それから、オリンピックラストマイル、競技会場までの案内等ということになっているのですが、これについても可能であれば、その近隣の学校で歓迎の意を表し、機運を醸成することを通して、子どもたちの心に優先的にレガシーを残してあげたいなと思っています。

その他、パブリックビューイングの実施や、学校連携観戦チケットがありますが、このうち学校連携観戦チケットというのは、子どもたちに観戦機会を提供し、スポーツの価値や伝統文化等を学ぶオリパラ教育の成果の波及を目的に実施するものとして県で行っているものですが、市町村立学校においては、県2分の1、市町村2分の1を負担することになっております。これらについても検討し、取り組めるものがあれば取り組んでいきたいと考えてございます。

私からは以上です。

○司会 ありがとうございます。とりわけ来年の東京オリンピック・パラリンピックのお話を中心にご意見をいただきました。

野口委員さん、いかがでしょうか。

○野口委員 教育委員会会議でもたまに質問したりしているのですけれども、プロスポーツのバスケットボールについて市で支援されているということで、大変いいことだなと思っています。人口30万人を超える越谷市ですので、やはり越谷市ならバスケットボールとかサッカーとかと、そんな意識が醸成されればいいなというふうに思います。昭和40年代の最初の国体、埼玉県国体のときは、たしかバドミントンの会場になって、大沢の体育館をつくったりして、その後バドミントンのレベルが大分上がった時期があったと思うのですけれども、結構力のある中学校や高校が出たりとかあったかと思っています。そういった意味では、プロスポーツも一つ市民意識を醸成する上で大事なのかなと思いますので、恐らく体育館の練習場所など調整するのがスポーツ振興課さんは大変な部分

もあるのかなとは思うのですけれども、ぜひこういったことを支援していきながら、市民意識の醸成につながればいいなと思っております。

また、先ほど教育長さんからもお話があったように、オリンピックとの関連についても、ぜひつなげるといいかなというふうに思っております。

以上です。

○司会 野口委員さん、ありがとうございました。野口委員さんから、プロスポーツについてご意見がございました。

堀川委員さん、いかがでございましょうか。

○堀川委員 最近としては、ラグビーの世界カップなどが記憶に新しいところで、非常に頑張っている選手たちを国民全体が応援するような熱狂、盛り上がりがありました。来年またオリンピックということで、非常にスポーツ熱、応援、また一人一人がスポーツを楽しむといった機運が高まるのではないかなというふうに期待しております。

また、先ほどアルファーズのお話、野口委員さんからもありましたけれども、小学生の無料招待などもあるようですので、越谷アルファーズを市民全体で応援していきたいなと感じております。

また、市民一人一人が自分の体を知り、体を動かすことの楽しさを感じながら健康増進していくということで、健康体操教室などは特に高齢者の方や女性などに大変人気がありますけれども、民間などでもいろんな器具を使ったり健康法などを展開しておりますので、そういったことを参考に情報を取り入れながら、越谷市民が興味を持てるようなスポーツイベントをたくさん開催していただいて、スポーツに親しんでもらいながら健康を高めてもらいたいというふうに考えております。

私からは以上です。

○司会 堀川委員さん、ありがとうございました。

渡辺委員さん、いかがでしょうか、お願いします。

○渡辺委員 私からは、2点ございます。

まず、資料2の最後のページ、11ページの、スポーツ・レクリエーション施設の充実を図るというところで、各種体育館の修繕や整備というような事項が挙げられ取り組んでいかなければならないのですが、もっと身近にスポーツやレクリエーションを楽しむ場所として、小中学校の体育館などをうまく利用できないかと考えます。例えばある中学校で野球が盛んであれば、グラウンドにナイター照明をつけて生徒たちがそこで野球をして、その後に大人がそこで練習をすることもできるのかなというふうに考えております。後は体育館にエアコンを設置し、そこで高齢者のスポーツ・レクリエーション

が楽しめるとか、そんな形でできないかなと思いました。

2つ目は、越谷市では様々な体操教室やスポーツ教室が行われています。9ページの高齢者のスポーツ推進への取り組みというところで、高齢者施設や自治会への出前講座を実施しているということなのではけれども、これをやはり継続させるところに意義があると思うのです。そのためにはどうしたらよいかというと、やはり指導者の問題だと思います。そこで、指導者に一定の謝礼を支給するというようなことも検討してもよいのかなというふうに感じました。越谷市にはスポーツリーダーバンクというのがあるようなので、例えば一定の謝礼を5回、6回の教室でお渡ししてやっていただくとかできれば、もっと盛んになるのではないかなというふうに思いました。

以上でございます。

○司会 渡辺委員さん、ありがとうございます。

ほかの委員さん、いかがですか、よろしいですか。大丈夫ですか。

それでは、市長、よろしく願います。

○高橋市長 生涯学習、スポーツ、両方に係るものがありますが、今、中学生でクラブ活動に入っている率はどのくらいでしょうか。小中学校からスポーツになじむことで成長してからも続けていけると思っています。

○山口指導課長 運動部、文化部ともに、基本的に中学校は全員が部活動に加入するという形で指導していますので、いろんな理由があって入らない子もいるかもしれませんが、基本的に入学時は100%入部しているということで把握しております。

○高橋市長 1年生のときはどこかに入部するが、続けることが難しい場合もあるのではないのでしょうか。スポーツでも文化活動でも施設の利用が限られることや、グラウンドにおいても野球とサッカーを同時にやる場合の調整など、物理的な問題もあると思います。しかし、クラブ活動の体験から生涯学習や生涯スポーツにつながっていくのだろうと私は思うので、学校が積極的に進めてほしいと思います。

生涯学習というのは、スポーツも含まれると思います。勝った喜びと負けた悔しさを学び、次のステップに向かうという、そういう気概を子どもたちには常に持ってほしいと思います。スポーツ、レクリエーション都市宣言から45年になりますが、高齢化により、若い人の参加率が少なくなったという面があります。特に地域の活動については、高齢者が頑張っているという一面もあると思いますが、やっぱり若い人がもっと文化活動、スポーツ活動を進めて地域の輪をつくっていく、それが大きな社会づくりになっていくと思います。また、自分が体験するスポーツだけではなく、応援することで、すばらしい喜びがあればいいと思います。そういった面でも子どもたちに対し積極的な取り

組みが大事だなと思っています。

社会の構造が大分変わってきているので、以前のように30代、40代の方がスポーツに花を咲かせることは、今は少なくなってきたかもしれません。土日に仕事を行う業界も多いため、催しの開催についても難しい面があると思います。さっき渡辺先生が言った、スポーツリーダーバンクの取組みについても、リーダーが少ないと感じます。私も何人かに勧めたことがあります、「土曜も日曜もないし、大変だし、みんなで子どもを育てるのは大変だよ」、「自分で楽しむだけで精いっぱいだよ」と言われてしまいました。こういったことでも、生涯学習が進まない面があるのだろうと思います。

子ども行政としてみれば、できるだけ多くの方が楽しめるような施設を整備して、楽しんでいただくことが大事です。生涯学習、生涯スポーツを体験できるような施設整備については、よく考えていきます。しかし、施設整備については、一気ににはできませんので、そういったことを理解していただいて、現状の中でも生涯学習の促進をしてほしいと思います。各地区体育祭もよく行きますけれども、選手を集めるのが大変だということをよく聞きます。それでも開催していただいているので、やはりまだまだ地域は大丈夫だと思っていますが、今後は続けることに重心を置かなくてはいけないかもしれません。中央大会も見直そうという声もなくはないのですが、ぜひ持続をさせていきたいと思っています。それには意識ある人をもっとつくっていかなくてはいけない。こういうことは常々感じていますので、これからもよろしくお願いします。

- 司会 基本目標3、生涯スポーツにつきまして、市長から熱い思いが語られましたけれども、委員の皆様から何かございますか。よろしいですか。

〔発言する人なし〕

- 司会 ありがとうございます。

それでは、本日の協議事項は以上となりますが、総括的、概略的に皆さんから何かございますか。

〔発言する人なし〕

- 司会 それでは最後に、市長から一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

- 高橋市長 本日は限られた時間でございますけれども、教育委員会の担当部長から方針について説明があり、各教育委員の皆様からもお話をいただきました。全てが解決できる話ではないと思いますが、各部署で分担をして、一生懸命取り組んでいただきたいと思います。

繰り返しになりますが、施設の整備や条件整理をしっかりと行い、教育現場をフォローしていく、これが大事ですから、しっかりと対処していきたいと思っていますので、よろ

しくお願いしたいと思います。

本日のご意見を受け止めまして、越谷市と教育委員会が連携を持って取組みを進めていきたいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

どうもご苦労さまでした。

○司会 それでは、恐縮ですが、ここで事務局から今後の予定につきましてご説明をさせていただきます。

まず、本日の議事録につきまして、この後作成し、市ホームページへの掲載、さらには公表をさせていただきます。

そして、次回第2回、総合教育会議の日程でございますけれども、来年の2月14日金曜日、午後3時から中央市民会館で開催をさせていただく予定でございます。詳細につきましては、改めてご連絡をさせていただきます。

以上をもちまして総合教育会議を終了とさせていただきます。皆さん、ご協力大変ありがとうございました。お疲れさまでした。